

運 営 推 進 会 議 報 告 書

開催日時 令和5年3月13日(月)		書面開催
資料配布者	議 題	
利用者 1名	・デイサービス事業報告	
学職経験者 1名	・避難訓練について	
市職員 1名	・社名変更について ・防犯について	
地域包括支援センター 1名	・個別機能訓練の取り組みについて	
事業所 1名	・ヒヤリハット報告	
資料配布内容		
<p>1. 運営状況報告</p> <p>登録者数：令和5年3月13日時点の利用者数・介護度別</p> <p>利用者合計：110名</p> <p>介護度：介護1（28名）、介護2（15名）、介護3（1名）、介護4（0名）、介護5（0名）</p> <p>支援1（23名）、支援2（24名）、事業対象者（19名）</p> <p>従業員数：管理者1名、生活相談員2名、看護師2名、理学療法士1名、介護士2名、ドライバー1名</p>		
<p>2. 避難訓練について</p> <p>年に2回、避難訓練を行っており、昨年10月には火災を想定した避難訓練を行いました。次回は4月に地震を想定した避難訓練を行う予定です。</p>		
<p>3. 社名変更について</p> <p>令和4年12月より、「下田工業株式会社」より独立をし、「株式会社笑笑音」と社名変更しております。その旨を利用者様・家族様に説明致しました。</p>		
<p>4. 防犯について</p> <p>テレビでも多く取り上げられていましたが、強盗事件が多発していたため、体操前の挨拶時や送迎時に、戸締りをしっかり行っていただくように声掛けや玄関の鍵をかけるところまで確認をさせて頂いています。</p>		

5. 個別機能訓練の取り組みについて

機能訓練の実施状況 事例紹介

S様 90歳 女性 要支援2 病歴：胃がん 乳がん(右乳房切除) 両目白内障 高血圧

症状：血圧は内服することにより安定 癌は手術を行い経過観察

現在の移動時のご様子：一本杖にて移動

現在に至るまで：長野県出身。74歳で独居になり娘様の家族と同居の為、瀬戸に転居される。74歳に胃がんの手術・81歳乳がんにより右乳房切除・85歳白内障の為、両目手術を行う。若いころはスポーツが大好きで卓球やバスケットボールを行い、体操教室にも通っていた。転倒したことにより、骨折はしていないが右腰と臀部を打つ。右下肢に痛みがあり、自力で足を上げる事が出来ない。移動時は1本杖を使用し、買い物の際にはカートを使用されているが歩行は不安定で、特に方向転換時にはふらつきが強く転倒リスクが高い。瀬戸に転居され、近隣に年齢の近い方が居ない為、家族以外との交流は少ない。下肢筋力の向上、同年代の方との交流を持つことを目標にデイサービスの利用を開始される。初めてのデイサービス利用で不安が大きいため、週一回から利用開始される。運動を行う事により右下肢の痛みが減少し、移動時足上げが楽になり筋力の向上見られ、他者との交流も多く楽しい場所だと思ってくれる事により、週2回と利用回数を増やされる。

H様 87歳 要介護2 病歴：左脛骨高原骨折 骨粗鬆症

現在の移動のご様子：独歩

現在に至るまで：令和4年4月ご自宅の段差で躓き、左脛骨高原骨折と診断。5月観血的骨接合術を施行。6月リハビリ目的であさい病院に転院される。ご主人と二人暮らしをされ娘様に迷惑をかけず、自立した生活を送れるように住宅改修を行い、リハビリ継続の為にリハビリ型のデイサービスをご希望され利用開始される。

入院時は杖を使用されていたが、デイサービス利用時は独歩にて移動される。歩き出しが不安定でふらつき見られる。手術後は痛みが続き、寒さで痛みが増し、動くことが辛くデイサービスをお休みしたいとお話があった為、運動を継続する事によりご自宅で安全な生活を送って頂ける旨を説明させていただき、デイサービスの利用を継続する。少しの段差で躓き転倒をされないように、平行棒横に踏み台を置き、理学療法士の指導のもと昇降訓練に取り組んで頂く。お休みなくデイサービスを利用されており、歩きだしの不安定は続いているが、移動時は安定した歩行が出来るようになり、ご自宅の主婦業も疲れることなくご自分でしっかりと行う事が出来るようになった。

6. ヒヤリハット・事故報告

起きた後の事故へつながらないための防止策

<p>デイサービスフロア内</p> <p>運動後室内移動時に、重心が後方に行き重心を前に戻そうとされた際にバランスが崩れ、前方にふらつかれる。</p>	<p>対応策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重心が後方にいかれる事が多いため、近位での見守りを継続し重心を意識し歩いて頂けるように声掛けを行う。
<p>送迎中の車内にて</p> <p>お迎え時より不穏気味の利用者様が後部座席に乗っており、次に乗られた利用者様が横に座られた際に、その利用者様に暴言を吐く事があった。</p>	<p>対応策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不穏気味の利用者様が隣の利用者様に暴言を吐かれる事がある為、お一人で座って頂ける座席(助手席等)に座って頂くようにする。
<p>デイサービス玄関</p> <p>普段眼鏡を使用し来所される利用者様が、裸眼で来所される。</p>	<p>対応策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お迎え時にスタッフが気付かず乗車してしまう。普段身に着けている物に意識をし、お迎え時に身に着けていない場合はその場で声掛けを行う。また、デイ到着時スタッフ全員に申し送りをを行い周知する。

※運営推進会議はコロナウイルス感染予防対策といたしまして、今回は開催を中止させていただきました。会議で予定しておりました報告内容を参加予定者に配布し、ご意見をいただきました。

7. ご意見・ご質問

(瀬戸市役所 健康福祉部 高齢者福祉課)

・利用状況について

利用者の男女の割合について教えてください。

→全体の7割が女性です。男性利用者様の割合の方が少ないですが、曜日により半数以上が男性の曜日があります。

・理学療法士の配置について

令和4年10月から理学療法士を常駐させているとのことですが、配置したことでどのような効果や変化がみられたか教えてください。

→要介護の利用者様の場合は個別機能訓練を行うにあたり、理学療法士指導のもと訓練を行っています。要支援の利用者様にはご自宅で行って頂ける運動プリントを作成しお渡しをさせて頂くとともに、身体機能状態の確認や訓練内容の提案等を行っています。また、運動計画書を作成するにあたり理学療法士にどのような運動が本人様にとって適切か相談をし、ケアプランに沿った内容での計画書の作成を行っています。今まで講師の理学療法士にアドバイス等をもらい機能訓練指導員が対応させていただいていましたが、理学療法士が常駐することで「いつでも気軽に相談できるから安心だ」というお言葉を皆様よりいただいています。今後も機能訓練指導員(看護師)とともに理学療法士を中心により一層専門的なアドバイスや訓練指導できるようにしていきたいと思っております。

(地域包括支援センターしなの)

・機能訓練を充実させる事で、少しでも以前の日常生活が取り戻せるなら、利用者様にとってとても喜ばしい事だと思います。また、生きがいにもつながり、出来る限り長く住み慣れた家で生活が送れるようになります。

とてもやりがいを感じる事だと思います。これからも職員の皆様にはくれぐれも体調に気を付けて頑張ってもらえると、紹介させて頂く我々も嬉しく思います。今後ともよろしくお願いします。

ヒヤリハットの対応策についても、しっかり状況確認が出来ていて、今後同じことが起きない努力をされています。本当にありがとうございます。これからも新規相談させて頂きます。

→ありがとうございます。今後も利用して頂ける利用者様の身体機能の維持・向上に向け支援させていただきます。ヒヤリハットについても、今後同じことが起こらないよう定期的な申し送りを継続して行っていきます。

(理学療法士・学識経験者)

今回提示していただいた症例のように「転倒予防」は、デイサービスの取り組みにおいて大変重要なことと考えます。転倒は、骨折やそれに伴う身体機能の低下を来しやすく、介護度を悪化させる要因になります。筋力アップや歩行を通じての転倒予防に対するリハビリを行っていることは素晴らしいことと思います。ぜひ、歩行にふらつきなどのバランスの悪い利用者や不安を持っている、転倒経験を有する利用者には積極的な取り組みを継続していただきたいと思います。また、転倒は筋力やバランス能力など身体機能の低下を改善することも重要なのですが、たとえ身体機能が良好でも転倒を起こすことがあります。今後の取り組みとして、利用者の活動範囲、すなわち自宅内やその周辺などで転倒を起こしやすい場所をチェックすること、転倒は「ぬかづけ」「ぬ」は濡れている場所（すべる）、「か」は階段・段差（つまづき）、「づけ」は片づけていない物が置いてある場所（つまづきとふらつき）で多く発生します。このような転倒リスクを知識として持つておくことも大切ですから、身体機能改善とともに学習の機会も取り入れるとより効果的になると思います。

→ありがとうございます。利用者様の今の身体状況やご自宅内の状態、生活習慣等を確認させていただき、日常生活を送る事に対し不安やお困り事がないかをお聞きし、常駐する理学療法士に相談し対応を行っていただけるようにしていきます。

(利用者 N 様)

・お試しをする予定だったが新型コロナウイルス流行の為、お試しを中止し自宅にいました。体重増加や下肢筋力の低下があり他者との交流が少なくなってきた為、デイサービスのお試しを行い利用する事になりました。もっと早くお試しをして利用しておけばよかったと思います。体重の減少はまだ見られませんが、運動する事により下肢筋力の向上も少しだけだかを感じています。知り合いが増えて交流も多く持っているので、すごく楽しいです。

→ありがとうございます。他者との交流を持ち、運動を継続して頂き、下肢筋力の向上・維持に向け支援させていただきます。

(品野民生委員協議会)

・今まで同様、利用者様に対し支援をよろしく願いいたします。

→今後も利用者様によりよい支援を行っていただけるようにしていきます。

ご協力ありがとうございました。